



みとよし 三豊市

# 議会だより

<https://www.city.mitoyo.lg.jp/gikai/>

9月定例会

- ②特集 対話集会
- ④議会報告会
- ⑦要請書提出
- ⑧議案報告
- ⑨審議結果
- ⑩事務事業評価
- ⑪決算特別委員会審査報告
- ⑫議員研修会
- ⑬一般質問
- ⑭委員会審査
- ⑮防災訓練
- ⑯学校紹介

豊中ミニバスケットボールクラブ女子

11 2021年 月号 No.43



## 学校紹介

三豊市立勝間小学校児童会



(後列左から) 旭 亮人/國方 音巴子  
(前列左から) 川 志帆/白川 莉子/西山 月/加藤 瑠

勝間小学校では、どんな学校にしたいか全校生で話し合い、KATUMAを頭文字にしためあてを考え、全校生で取り組んでいます。また、SDGsの項目の中から、「飢餓をゼロに」に視点をあて、食べ残しをなくす取り組みを行っています。

三豊市立比地大小学校児童会



(後列左から) 北野 大旗/丸岡 祥/近藤 晴揮  
(前列左から) 大宮 奈々/豊田 萌心/引田 愛鈴

比地大小学校では、「◎人に会ったら ◎自分から ◎だれにでも ◎いきいき」と合言葉に、あいさつ運動に取り組んでいます。本年度は、あいさつの輪を広げるために「あいさつヒーロー比地大ジャー」を結成し、各教室へ元気な声を届けています。



三豊市立吉津小学校児童会



(左から) 山本 るるか/米村 虹音/前田 颯来/  
奥田 啓太/芳地 大空/西谷 めい

吉津小学校では、あいさつ運動やリサイクル活動に取り組んでいます。今年度は、SDGsの項目の中から特に牛乳パックのリサイクルに視点をあて、全校生に呼びかけています。また、「紙飛行機大会」や「O×クイズ大会」などを企画し、笑顔いっぱい楽しい学校を目指しています。

三豊市立松崎小学校児童会



(左から) 大島 瑠夏/高田 誠立/池ノ上 陽太/  
田尾 穂乃花

松崎小学校では、松崎っ子SDGs目標を決め、「勉強道具を大切にしよう」を重点目標として全校生で取り組んでいます。毎月、強調週間を設けることで、持ち物を大切に使用しています。また、6年生は栗島での海浜清掃を通して、ふるさと詫間の環境を守っていくと誓いました。

### 編集後記

紅葉が美しい季節となりました。議会とは今年度、映像による議会報告会を配信、また笠田高校との対話集会を開催しました。生き生きとした対話は民主主義の基盤であり、コロナ禍の中、開かれた議会として対話の重要性を改めて実感しました。議会だよりについても、市民に分かりやすく、関心を持って、愛読いただけるよう取り組んでいます。(水本)

### 今月の表紙

#### 豊中ミニバスケットボールクラブ女子



私たち豊中ミニバスケットボールクラブ女子は、市内外の小学生が在籍しているチームです。今年度は新人戦、夏季大会優勝、全関西大会出場という功績を残し、6年生は最後の県大会優勝に向けて日々厳しい練習に取り組んでいます。たくさんの方々への感謝の気持ちを忘れず、チーム一丸となって頑張っています。応援よろしくお願いします!! (取材：田中)



QRコードを読み取ると、市議会のホームページがご覧いただけます

- 議会広報委員会
- 委員長 岩田 秀樹
  - 副委員長 田中 達也
  - 委員 市川 洋介
  - 委員 高木 修
  - 委員 近藤 武
  - 委員 水本 真奈美
  - 委員 石井 勢三



この広報紙は、古紙配合率70%再生紙、また、環境に優しい植物油インクを使用しています。

発行・編集 三豊市議会・議会広報委員会 〒767-8585 香川県三豊市高瀬町下勝間2373番地1  
TEL.0875-73-3009 FAX.0875-73-3024 E-mail gikai@city.mitoyo.lg.jp





特集 市民と議会をつなぐ

# 笠田高校 × 市議会

テーマ  
「薬用作物の実証栽培」

意見を聞かせてください



8月2日、香川県立笠田高等学校と市民建設常任委員会が、同校で対話集会を行いました。

## 1 農場紹介 畜産に薬用作物を

はじめに、畜産専攻の久保さんから、インターネット生中継により、薬用作物を実験的に栽培している畑について、紹介がありました。



▲農場からの中継



畜産専攻 久保 紅葉 さん

「大和当帰」と「三島柴胡」が今育っていて、奥のほうに唐辛子をちよつとだけ植えている状態です。「大和当帰」は葉っぱが要らなくて根っこだけを利するるので、葉っぱを利用できないかなと思つて、豚や鶏に食べさせて、卵がどうなるかなというのを実験しています。

## 2 薬用作物栽培 魅力あるまちづくりを

薬用作物で  
魅力あるまちづくりを

薬用作物の栽培参加農家数は現在、昨年度の3倍まで増加。笠田高校のさまざまな活動は農家の方が薬用作物に興味を持つきっかけともなっています。現在の活動の説明を受け、栽培する中で感じていることを伺いました。



野菜専攻 真鍋 典之 さん

### 薬用作物に対する印象

耕作放棄地やちよつとした隙間で栽培できるようにになると、農家にとっては少し収入が増やせるようになるし、三豊市産の薬用作物が普及し始めると、三豊市の人たちの健康への興味や関心が高くなり、健康で生き生きとした三豊市になります。



▲薬用作物 大和当帰

と市長が講演でおっしゃっていました。少しでも力になれるように頑張りたいと思います。  
薬用作物を中心に栽培することで生活していけるのか  
「大和当帰」や「三島柴胡」を作ってみて、初めはとても苦勞して苗が育つまでは時間がかかりましたが、それからは順調に育つて、しっかりと管理をしてあげれば誰でもたくさんの収穫量を取れると思います。



野菜専攻 草薙 克哉 さん

### 薬用作物とほかの農作物の違い

薬用作物は、病気を治したり病気になるないようにするために使用されるため、食料品である野菜の栽培より気を遣います。



野菜専攻 合田 祥己 さん

### スマート農業の実用性や課題

今は、栽培環境を知るために、気温や土壌水分などを測定しています。データも重要ですが、栽培にかかる手間を少しでも省けるようになれば良いなと思つています。片手間で薬用作物が栽培できるようになれば、もっと普及できると思えます。



野菜専攻 山階 咲汰 さん

### 行政と連携した事業に取り組むことについて

今は市の農林水産課の方たちと連携して栽培に取り組んでいて、予算の面や外部の人との連携を図っていただけているので、学校だけではできないことに挑戦できることにメリットを感じています。

### 3 その他の意見 校外販売の機会を

薬用作物以外の意見や要望も伺うことができました。1件ご紹介いたします。  
【軽トラ市】  
意見 コロナの影響で、従来行っていた校外販売（軽トラ市）の機会が奪われてしまつて

### 対話集会を終えて

ご意見の一部をご紹介しましたが、他にも多くの意見が交わされ、議会と市民を

ふだん、普通に会えない人と会って、お互いの意見を共有することができ、とてもいい時間になりました！  
農家さんの立場に立って、農家さんがより簡単に、たくさん採れるように、薬用作物を工夫して作っていききたいと思います。



つなぐ新たな取り組みとして、とても有意義なものになりました。  
対話集会を終え、校舎を後にしようとする議員の前に、所狭しと並べられた立派なマスキメロン。商売上手な地元の高校生を頼もしく思い、われ先にと買い求める議員の姿に心を打たれてしまい、シャッターチャンス逃してしまつたのが残念でなりません。

※写真撮影時のみ、マスクを外しています。会議はマスク着用、手指消毒、換気等、十分なコロナ対策のもと行っています。



議会報告会 開催報告

寄せられた皆さまの質問にお答えします

議会だより8月号でもお伝えした、コロナ禍による議会報告会の新たな試み、「動画による議会報告会」。

今号では、動画視聴の後、アンケート回答によりいただきました皆さまの質問・ご意見、またその回答を紙面の都合上、一部抜粋して、お知らせします。全文は市議会ホームページで、ご確認くださいませ。



▲質問と回答の全文はこちらから



またはインターネットで 三豊市議会

報告は、所管の担当委員会ごとに順次、掲載します。

総務常任委員会

自治会について

問 配布物等の負担を減らさないとますます自治会の加入者は減ると思つ。三豊市は、自治会に関するアンケート調査をしたことがあるのか。

答 5年間、自治会長を対象にアンケート調査を実施している。直面している課題を掘り下げ、その対策を見いだすためには、改めて市民一般向けのアンケート調査を実施するこ

財政について

問 各施策を簡潔に説明いただき、分かりやすかった。その反面、財政事情に不安も感じた。合併時よりも予算規模・起債残高ともに増えすぎているようだ。そのあたりをチェックする必要があるのではないのか。

答 市民の皆さんから求められる行政需要に添えていると、どうしても予算規模は膨れる。三豊市では、厳格な事務事業評価を行い、廃止や縮小する事業を見だし、行財政改革に取り組んでいる。議会としては、しっかり監視をしていく。

教育民生常任委員会

障がい者支援について

問 障がい児を育てている保護者から三豊市は預ける場所が足りないと言いが、将来のあらゆる子どものために共生社会を目指して、たくさん施設を増やしてほしい。

答 障がいのある子どもを預かり、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等療育を行う福祉サービスを提供している事業所が3か所あるが、常に満員状態であると聞いている。このことからその解決方法を執行部に働きかける。

学校運営について

問 学校選択制を取り入れるべきではないか。

答 今年度からすべての学校で「コミュニケーション・スクール(学校運営協議会制度)が導入され、また、中学校の統合等の学校再編も検討委員会で協議している」と聞いており、その成果を見守り、議会として執行部に市民の意見を伝えていく。



修学支援について

問 給付型奨学金は、新規進学者だけでなく、すでに進学済みの学生に広げることはないのか。

答 「給付型奨学金」については今年度から始まった制度であり、今年3月に高校を卒業し進学された学生を対象としている。今後、大学2年生以上の現役学生を対象とする制度の拡充については、市民ニーズに合った事業になるよう執行部に求める。

子育て支援について

問 子どもの医療費について、中学生まで医療費助成に助けられているが、高校生まで負担ゼロにならないのか。

答 高校生までの医療費無料化は、子育て世代の経済的負担の軽減に資するとともに、子どもの貧困や格差の観点からも病院に行くことをためらわない制度設計が必要と感じている。

コロナ対策について

問 「コロナは、初めは未知のウイルス」ということで恐れていたが、一年経った今、果たして市民がこんなにも我慢しながら生活しなくてはいけないのか。特に子どもたちは何年経っても

移住定住について

問 財田町への移住者が増えてきている。移住につながるお試し滞在などの支援もお願いしたい。

答 お試し滞在制度の運用は、三豊市への移住者の増加につながる効果的な方法だと考える。今後、三豊市全域において運用できるのか、市行政と意見交換をしていく。

企業誘致について

問 大学や大学院を卒業した後、就職できるような企業や三豊市にない種類の企業を誘致してほしい。

答 新しい業種の企業誘致は、三豊で育った子どもたちが三豊に住み続けられるきっかけの一つになると考える。しかし、企業側は進出先でUTター人材に加えて、地元大学などに人材供給能力があるのかも測っている。議会としては、企業側の立場を踏まえた誘致への取り組みが行われているか、監視をしていく。

観光振興について

問 現在の三豊市は父母ヶ浜、紫雲出山と全国に誇る観光スポットがある。これから、アピールをするために瀬戸内を活動拠点としているアイドル

重症、死亡ゼロとのこと。子どもたちに我慢させすぎである。未来ある子どもたちの笑顔を守ってほしい。

答 第5波を迎え、感染者数の急増とともに全体に占める小児(0歳~19歳)感染者数の割合はわずかに増加傾向にあり、感染後の後遺症等もあわせて、今後の動向を注意深く見守っていく必要がある。基礎疾患のある小児、または2歳未満の子どもは比較的に症状が重くなる傾向があるとされているので、社会全体での基本的な感染対策(3密回避、適切なマスク着用、手洗いなど)を徹底しながらの新しい生活様式の実践をお願いしたい。ご不便をおかけするが引き続きご協力をお願いしたい。

学校運営について

問 教職員給料がどのような基準なのか知らないが、年功序列や臨時や正規関係なく同一労働同一賃金・成果で決めればよいのではないのか。

答 教員は、県教育公務員として、資質と指導力向上のために研修していると聞く。今後さらに校内研修を充実させ、児童、生徒の学力向上につながるようにすることを執行部に求める。



▲紫雲出山のあじさい

グループSTU48を観光大使として起用してはどうか。

答 ご提案の情報発信が大きな効果につながるのか、費用対効果は適切なのかなど専門的な検討が必要だと考える。検討を行うよう働きかける。

コミュニケーションバスについて

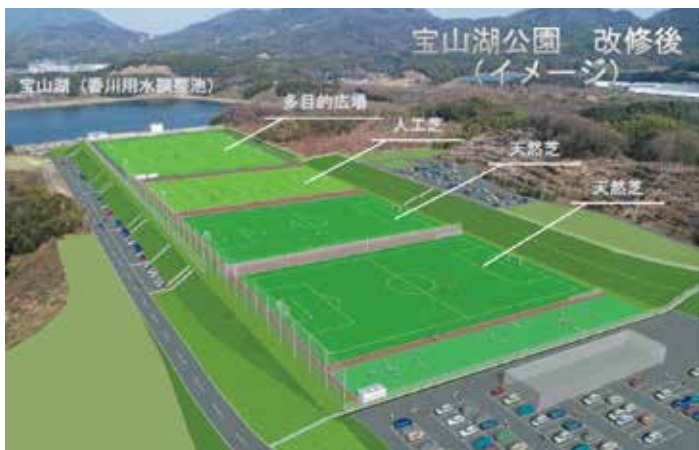
問 コミュニティバスに車外広告はない。募集したが広告したい人がいないのか、そもそも募集をしていないのか。

答 コミュニティバス運行に係る広告収入として、車内広告、停留所名称、時刻表等の印刷物への広告募集を行っている。今後は車外広告についても募集するよう市行政に働きかける。

スポーツ施設について

問 宝山湖公園は、現在でも利用者が少なく平日はほとんどいない。整備費、維持費を考えると費用対効果でマイナスとなると思うが。

答 今後の改修により、平日の利用促進とスポーツを拠点にしたウェルネス、ツーリズム、教育など多角的な事業展開を考えているとのことであり、それが実行できているのか注視していく。



▲宝山湖公園改修後のイメージ図

※ウェルネス…健康 ※ツーリズム…観光事業や旅行業



市民建設常任委員会

ごみ処理について

問 資源回収は、近隣の自治体のように月一で集積所に回収に来るようにしてほしい。

答 現在、市は年2回の回収を行っている。三豊市では他市と比べ小学校等が行う資源回収活動(リサイクル活動)が盛んであるため、市としてもその活動を支援することで市民のリサイクル意識の向上を目指している。今後の対応については、そうした活動の状況等を見ながら検討していきたいとのことである。



▲ 資源回収活動の様子

都市計画について

問 国道1号(あまじは)は渋滞するが、鳥坂峠や新名あたりも4車線にならないか。

答 現在、豊中町の笠田から観音寺市にかけて、国が4車線拡幅工事を行っている。高瀬・三野区間についても、交通渋滞の緩和や事故防止等の交通環境を改善するため、国に対して事業化に向けた要望を行っていききたい。

道路について

問 詫間琴平線は、三野町から高瀬町の線路を越えたあたりまでは歩道がないところがあるが、歩道をつくれぬか。

答 執行部を通じて、道路管理者である香川県西讃土木事務所へ要望を伝えさせていただく。

墓地について

問 墓じまいを検討しているが、市営墓地では共同墓などは整備できないか。

答 市内宗教法人においても永代供養事業等が行われていることから、現時点では市が共同墓を整備することとは考えていないとのことである。

議会運営委員会

議会報告会について

問 このような取り組みはとても良いと思う。家に居ながらどのようなことが審議され、どのように決まったのかなどが分かるのは今時だと思ふ。今後どんどんやってほしい。

答 コロナ禍で、どうすれば議会報告会ができるのか、思案の結果の報告会であった。ご意見を受け止め、内容・方法をさらに考慮して、より良いものにしていきたい。

議会報告・議会審査

議会活性化について

問 動画配信からは各議員さんの想いが伝わってくる。ICTからIoT、さらにAIへと三豊の未来を感じる。デジタル化を大いに進めてほしいが、高齢者にも分かりやすくしてほしい。

答 本市は、デジタルファースト宣言をしている。議会としても、大切な税金であるので、無駄のないよう、細心の注意を払いながら、デジタル化を検討していきたい。

議会広報委員会

議会だよりについて

問 定例議会ごとに「議会だより」を発行しているが、細かく読むのは面倒で、あまり目を通していない。大胆だが、この際、議会だよりをペーパーからビデオ配信に変えてはどうか。

答 一般質問は配信されているが、長時間で、見るのは疲れる。議会だより程度にまとめあげた一般質問を質問者自らビデオ出演し、委員も委員長がビデオ出演して、耳で聞ける議会だよりにはどうか。

ペーパーレスにより、環境に配慮した議会になるのではないか。

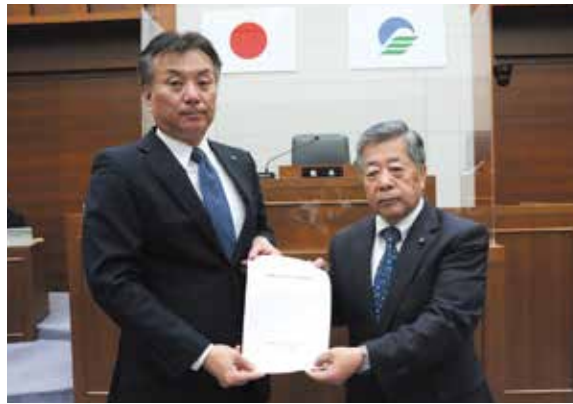
答 ご提案いただいたとおり、映像というツールは、開かれた議会として、議会で起こったことを市民の皆さまにお伝えするのに、今後、より重要なものだと認識している。市民の皆さまに、より見やすい議会だよりを提示できるように、映像の活用方法の可能性を模索していきたい。



市政に対する要請書を提出しました

10月1日

新型コロナウイルスの影響により、通常の議会報告会のスタイルを変更して行った議会ホームページ上での「映像による議会報告会」。そこでのアンケートや、笠田高校との対話集会において、今号2ページから6ページでもご報告したとおり、市民の皆さまから、貴重なご意見やご提案をいただきました。市議会では、その中から特に重要な案件6件を抽出し、よりよい三豊市づくりに役立ててほしいと、「市政に対する要請書」をまとめ、議長から市長に提出しました。



項目は次のとおりです。

1. 自治会について

市民の意見を聞き、それぞれの自治会が直面している課題を掘り下げるとともに、今後の具体的な対策の強化を求めるもの

2. 企業誘致について

人が集まり、にぎわいが生まれるまちづくりに向けて、新たな企業誘致の取り組みを求めるもの

3. 薬用作物の実証栽培について

薬用作物の分野に限らず、今後とも官学連携の取り組みを積極的に講じるとともに、より一層の関係強化に向けた継続的な連携、支援を求めるもの

4. 障がい者支援について

障がいのある子どもの療育や預かりを行う事業所の増設に向けた取り組みを求めるもの

5. 修学支援について

コロナ禍における経済状況の悪化も踏まえ、奨学金制度の支援対象を新規進学者だけでなく、進学済みの現役学生にも拡充することを求めるもの

6. 学校運営、学校再編について

学校においてコミュニティ・スクールを導入し、学校運営に地域の意見を取り入れ、地域の特色を生かした学校づくりや、今後の中学校、小学校の統合等の再編について取り組むことを求めるもの

議会日誌

Table with dates and meeting titles for July, August, and September.

視察に来て 7月21日 多度津町議会【ローンの運用について、議会の動画配信について】
くださいました 8月11日 丸亀市議会【離島振興におけるローンの活用について】

※ICT…情報通信技術
※IoT…さまざまな物がインターネットでつながり通信する
※AI…人工知能
※デジタルファースト宣言…2020年に三豊市が示した「関係人口施策、市民サービス、自治体運営の分野に急速に進化するデジタル領域の力を最大限に活かし施策を展開する」という宣言



令和3年第3回(9月)定例会

■全会一致の議案等

Table with 2 columns: 議案名等, 議決結果. Lists various council resolutions and their outcomes, such as '令和2年度三豊市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について' (Original Resolution).

※人事案件(敬称略)

■賛否が分かれた議案等

Table with 23 columns (議員名) and 1 column (議決結果). Shows the voting results for specific resolutions, such as '令和2年度三豊市一般会計歳入歳出決算認定について'.

※○:賛成 ●:反対 欠:欠席 退:退席 除:除斥 ※議長は可否同数の場合のみ表決権があります。(議長 12番 為広 員史)

- 令和2年度決算認定 ..... 10件認定
● 令和3年度補正予算 ..... 9件可決
● 条例に関する議案 ..... 3件可決
● その他の市長提出議案 ..... 8件可決
● 人事案件 ..... 3件同意
● 議員提出議案等 ..... 2件可決
● 議員派遣 ..... 1件可決
主な議案をご紹介します。

令和3年 第3回 定例会の概要

【会期 9月1日~10月1日(31日間)】

可決 令和3年度 9月補正予算

補正

- 一般会計 914,879千円増↑ 36,353,813千円
○特別会計 国民健康保険事業特別会計 101,973千円増↑ 8,250,973千円
国民健康保険診療所事業特別会計 5,142千円増↑ 160,142千円
後期高齢者医療事業特別会計 1,664千円減↓ 1,099,336千円
介護保険事業特別会計 359,288千円増↑ 8,215,288千円
集落排水事業特別会計 5,078千円増↑ 174,078千円
港湾整備事業特別会計 718千円増↑ 25,718千円
○企業会計 病院事業会計 64,300千円増↑ 5,301,723千円

議案 Pick Up 三豊市過疎地域持続的発展計画の策定について
過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が施行され、旧詫間町、旧仁尾町、旧財田町が一部過疎地域に指定されたことに伴い、三豊市過疎地域持続的発展計画を策定することについて、議会の議決を求められたもの。

決算 令和2年度歳入歳出決算認定
一般会計 8事業
特別会計 8事業
国民健康保険事業
国民健康保険診療所事業
後期高齢者医療事業
介護保険事業
介護サービス事業
集落排水事業
浄化槽整備推進事業
港湾整備事業
令和2年度決算認定
病院事業会計
決算審査の結果は、令和4年度予算に生かされます。



人事案件(敬称略) 人権擁護委員候補者の推薦について
市村 照美(三野町下高瀬)
中井 久美子(仁尾町仁尾)
神原 和代(財田町財田中)

意見書 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について

議員提出議案 三豊市議会基本条例の一部改正について

議会の機能強化のため、「災害時の対応等」に関する規定の新設、「多様性の尊重」に関する規定の新設および「議会広報の充実」に関する規定の改正等を行う必要があることから、所要の一部改正を行うため提案するもの。

可決



市の施策を議会で

評価しました

議会が独自に選定した、市の政策8事業について、決算特別委員会で評価を行いました。

これは、市の執行機関の活動を監視、評価することにより、適正な行政運営の確保に努めることを目的としたものです。

評価の結果は、定例会最終日に、議長から市長に提出し、令和4年度予算編成や今後の施策展開に活用すること、評価内容の施策への反映状況を議会へ報告することをお願いしました。

8事業の評価結果とその主な理由をお知らせします。

Q.どうやって評価してるの?



A.市が行う主要な事務事業を必要性、妥当性、達成度、費用対効果などの観点から、拡充・維持・縮小・統合・休止・廃止・完了の7区分で評価しています。

定住促進事業 拡充

- コロナ禍で地方への移住・定住は今後も進んでいくと考えられる。
● 人口減少対策として必要であり、改革も必要である。



まちづくり活動推進補助事業 維持

- 目的と計画が後退している。地域ごとに温度差もあり、費用対効果がよく見えない。
● 予算規模は維持だが、人員は拡充が必要である。



交通政策推進事業 維持

- 国の補助を使い実証しており、人口減少地域の交通の利便性向上に寄与するものである。



有害鳥獣対策事業 維持

- 現事業を維持しながら、新しい対策の調査研究や、実際に活動できる捕獲者の確保に努めるべきである。



荒廃農地等利活用促進事業 拡充

- 生活環境としても産業としても重要な農地の利活用は、地域資源を生かした地域課題の解決のために重要な事業である。



空家等対策事業 拡充

- 対象空家は増えており、拡充するとともに、もっとできることはないかを検討すべきである。



学習ICT整備事業 拡充

- コロナ禍の中、ICT化がますます重要となっている。学習ICT整備事業の質的向上を図ってほしい。



病院事業(永康病院) 拡充

- 新病院建設を成し遂げ、そこを拠点とし地域医療体制の一層の充実が必要である。



決算特別委員会

9月10・17・21・22・27日開催の決算特別委員会には10議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

◆一般会計

〔歳入〕

市税 徴税と固定資産評価関係で、空き家が増えつつあり、税の徴収に対して支障をきたしていないか。相続との関係は円滑なのか。

答 事務課では、所有者が死亡した場合に相続の調査を行っている。1月1日が基準日になるが、その時点で相続人が不明、または誰も相続されていない、送り先が不明の時には納税通知が送れない。

〔歳出〕

総務費 地域おこし企業人プログラムの負担金などの決算額で、外部人材登用負担金として700万円計上されているが、どういった形で活用したり運用がされたのか。

答 具体的には、一般企業から人材を1人出向していただき、主に移住・定住に関する事、関係人口の創出および拡大に関する事で1年間、業務を行っていた。

工業用水道事業の実現に向けた整備の調査検討の結果はどうなっているのか。

令和2年度には既存水源地の高瀬川水系5カ所の水源の取水量、また水質検査を実施した。水量の結果は需要水量を大きく下回る結果となり、

水質検査でも上水道の予備水源としては不向きであるとの報告結果となった。

建物解体工事として、三野支所の場合は他の建物以上に金額が大きくはないか。外壁に非常に多くのアスベストを含有していることから、建物全体を覆った工事になってしまった結果、解体工事が増額となった。今後の建物については精査して、よりよい解体工事をしていきたい。

民生費

放課後児童クラブの令和2年度実績では、市内19小学校の児童10017人が登録、利用されている。そのうち10クラブが民間委託されている。報告書では支援員71人の記載があるが、民間委託クラブを合わせて何人の支援員で運営されているのか。放課後児童クラブ支援員報酬の71人は会計年度任用職員の常勤、非常勤を合わせた人数で、常勤34人、非常勤37人となっている。

令和2年度では10小学校区においてNPO法人などへ民間委託している。また、従事支援員数はパートも含め合計84人となっており、直営と民間委託を合わせた学童の支援員数は155人である。

衛生費

ごみ減量化対策事業で、段ボールコンポスト材料を支給し、574人が取り組み、26トンの排出抑制と処理コスト削減との説明があったが、ごみ減量化対策事業費は毎年減少している。原因についての分析を聞きたい。

段ボールコンポスト材料の支給に関しては、前年度比で決算額約3万6千円、取り組み人数269人が減少しているが、新型コロナウイルス感染

拡大の影響で、会合などが思うようにできず、取り組みの周知が十分にできなかったことが少なからず影響していると考えられる。



◆病院事業会計

収益的収支で当年度純損失が約3億1400万円となっている。この損失は想定内であるとの答弁の根拠を聞きたい。

令和元年度の決算と比較すると約4千万円の純損失の増加となっている。令和2年度においては人件費の増加により、来年度の新病院の開院に向けた先行投資として、看護師や医療技術員等の正規職員の増員を行ったものである。新病院において地域の皆さまに信頼され、安心して医療を提供していくための準備として必要な投資であると考えている。

黒字化については病院経営改善タスクフォースを中心に、職員の意識改革を進め、新病院においては最新医療機器の導入や病室のオール個室化などの設備、施設面の強みを生かすことで、入院・外来患者数の増加により、長期収支計画において令和5年度決算における黒字化を目指していきたい。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり認定した。



# 一般質問

## 議員研修会を開催しました

7月14日

講師



シーズ・オブ・モチベーション  
代表 **山田 真司** 先生

議会活性化の一環として、シーズ・オブ・モチベーション代表の山田真司氏を講師に迎え、「ファシリテーションを考える」をテーマに、議員研修を行いました。



▲研修会の様子

### 研修を受けて

「ファシリテーション」、普段あまり気にすることが無かった言葉です。研修の最初に講師から説明がありました。ファシリテーションとは、人々の活動が容易にできるような支援し、うまく事が運ぶようにするということで、リーダーが備えるべき能力の一つだそうなんです。

市議会議員としても、会議を円滑に運営し、また、市民の皆さま方の声を真摯に聞き取るためには、ファシリテーションはぜひとも必要な能力であると自覚し、興味深く研修を受講しました。

会議の進行役を務める場合には、

最初に、会議をどのように進めていくのか、どうやって最終的に決めるのかなどをイメージしておくことが大切で、また、硬い雰囲気を感じる場合には、アイスブレイクという雰囲気づくりなども大切だそうです。

原則として、会議の進行役は「中立」であるべきで、進行役が会議の中に入ってしまうと、どうやって会議を進めたいのか、どうやって決めたいのか、会議全体が客観的に見えなくなってしまうので、自分の意見があっても言つのを我慢することがお作法ということでした。

会議は、「準備」「発散」「収束」という段階に区分することができ、第1段階の「準備」では、会議の目的、何のために今日話をするのか、どのような論点、テーマで話をするのか、どんな順番で話をするのか、所要時間などについて共有しておくことが重要で、第2段階の「発散」では、時間も十分にとり、できるだけたくさん意見を引き出し、第3段階の「収束」では、取り進むべき課題はいつあるのか、その原因は何かについてメンバーの確認をとることが重要であるようです。また、対策をどうするかについては、可能な場合には、次の話し合いでというような導き方も心得る

必要があるようです。

私たちは、会議の進行役になった場合には、自分の思う結果が出るよう会議を進めたいと思えば、会議全体の適切な運営を見失うこともあり、また、会議のメンバーになった場合は、自分の意見を何とか通したいという願望から、相手の意見やその根拠を十分に理解しないということがあ

かもしれません。  
この機会に、議員はもちろんな、市民の皆さんも一緒になって「ファシリテーション」を意識し、みんなの意見をうまく取りまとめたり、参加者の納得度を高めることにより、「誰一人取り残さない」地域づくりに取り組みたいものです。



▲班に分かれての実践

※アイスブレイク…初対面の人が出会う時、その緊張を解きほぐすための手法



城中利文  
議員



### 選挙公約について

**問** 1期目に対する自己評価はどのようなものか。

**答** 子育ての環境整備は、支援センター「なないろ」を拡充し、ワンストップの仕組みを構築した。ICT等の先進的取り組みは、本県出身の東京大学教授の協力のもと、みとよA社会推進機構を立ち上げた。またオールジャパンで人材育成や取り組みを行い、この成果は確実に課題解決へとつながると信じている。農水産業は、作物のブランド化を目指し、今年には薬用作物の出荷が可能となる。中小企業の支援と投資は、コロナにより状況が一変し、足踏み状態であるが、Maas等さまざまな施策を展開し、多くの民間企業が参入し、さまざまな取り組みをしている。民間と地元企業を巻き込み型でつないできた。この流れは確かなものになりつつある。

**問** 2期目に挑戦するのか。

**答** 掲げている公約を市民のため、形にするため2期目に挑戦する。

### 防火水槽の役割と現状について

**問** 三豊市にある防火水槽の数および役割と現状、役割を終えた後はそのように処理するのか。

**答** 数は、令和3年4月1日現在307基で、全体の8割ほどが30年以上経過しており老朽化の割合は高いと認識し、その都度修繕を行っている。役割を終えた防火水槽は、今後も適正な維持管理に努め、継続的に使用する。消水利の充実は不可欠であり、安定した消水利の確保に努める。今後も防火水槽の点検、耐震性防火水槽の新設、既存のものは耐震化を図る改修方法を調査している。



丸戸研二  
議員



### 災害時・火災時等の要員確保について

**問** 消防団員は、昼間、生業に従事している。昼間の出勤態勢を強化するため、消防団OBに活躍してもらって「機能別消防団員制度」導入に向けた検討をすべきでないか。

**答** 機能別消防団員制度は、基本団員の活動を補完するものとして十分期待できる。令和4年度の導入を目指していく。

**問** 大規模災害時におけるスタッフ確保は急務である。市の職員OBや保健師、看護師の資格を持ちながらリタイアしている方を登録し、大規模災害時のスタッフとして従事していただく制度を導入できないか。

**答** 地域在住の市職員OBなど多様なスタッフの確保について検討し、令和4年度の導入を目指したい。

### デジタル機器の導入について

**問** 市が導入するパソコンは、価格が1台当たり40万円近くになっている。機器の導入に当たっては、最適化の検証が必要であり、導入機器の性能を見極め、必要としている機器を見いだすべきではないか。

### 財田こども園の整備について

**問** 財田こども園は、幼稚園棟に雨漏りがあり、壁のひび割れ、プールの塗装がはがれるなど老朽化が進んでいる。令和4年度から幼稚園棟の抜本改修はもろろん、保育所棟も含めた改修が必要ではないか。

**答** 財田こども園の旧幼稚園棟は築41年を超えた老朽化が著しい施設である。次年度には施設改修の設計に取り掛かれるよう取り組み。また、現施設の改修ではなく、保育所棟を増築する方向で抜本的な整備を進める。



▲老朽化が進んでいる「財田こども園」舎

### その他の質問

○重点事業について





高木 修 議員



長雨による農産品被害について

今年8月の長雨で農産品に相  
当な被害があったのではと懸念  
される。被害額が算定されてい  
れば、その内容を教えていただ  
きたい。

今年8月の雨量は月間200ミ  
リを超え、梅雨時期に匹敵した。  
三豊市での被害は、水稲約111  
ヘクタール、野菜約6ヘクタール、果  
樹が約10ヘクタールという状況であ  
る。現在、県において、被害を受けら  
れた農家に対して排水対策など、被  
害軽減への技術指導を行っている。

人事異動実施の考え方について

人事異動には、育成異動、課題  
解決異動、通常異動の三つの種  
類があり、それらを機動的に組み合  
わせて推進すべきと考えるが、執行  
部の見解を伺う。

従来的人事異動は、質の異なる  
職場を短期で多く経験させる、  
ジエネラリスト養成が主な目的と  
なっていた。しかし、時代の変化に合  
わせて、特定の分野に精通したスベ



瀧本文子 議員



ヤングケアラー対応について

国の実態調査から家族の病気や  
障害をケアする中学生5.7%、  
高校生4.1%と言われる。子ども  
は重い負担を負うこともあり、育ち  
や教育への影響が懸念される。①教  
育現場での把握状況、②パンフの作  
成配布、周知、③実態調査の実施、④  
「ケアラー支援条例」の策定につい  
て伺う。

ヤングケアラーは実態把握が難  
しく発見しづらい課題がある。  
①②相談窓口の充実、学校とSSW  
等連携を強化し、周知・啓発を図る。  
③第2期みとよ子ども未来応援計画  
策定の中で、実態把握に努め、計画に  
反映する。④条例の検討・研究を行う。  
○ヤングケアラー…ケアを要する家  
族の世話、家事や介護等を行って  
いる18歳未満の子ども

コロナ禍における子ども貧困

長期化により子育て世代に影響  
が集中している。調査から困窮  
家庭は非正規労働のひとり親家庭等

シャリストの育成も重要と考えてい  
る。その二つを組み合わせながら、高  
度化、複雑化する行政ニーズに応え  
ていきたい。

ごみ収集処理事業の収支について

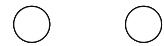
ごみ処理事業の収支と、全体で  
どれくらいのコストがかかって  
いるのか、教えていただきたい。

令和2年度の、歳出総額から特  
定財源(収入)を差し引いた、収  
支にあたる一般財源充当額は、約4  
億5669万円となる。

ちなみに、県の調査によると、令  
和元年度の香川県民一人当たり  
のごみ処理経費が約1万4600円な  
のに比べ、三豊市民一人当たりのご  
み処理経費は8700円と、大幅に  
少ない状況にある。



▲ごみ処理の最前線



市長の農業施策薬用作物について

薬用作物は手間が通常よりか  
かる。見合うだけの収益がない  
のではないかと、基幹的農業従事者の  
減少についての対応は、また、農業所  
得を上げるための行政の在り方につ  
いて伺う。

薬用作物栽培にはさまざまな  
ハードルはあるが、国産生薬は  
非常に魅力的な取り組みで、収入増  
や本市農業の一端となりうる。基幹  
的農業従事者減少については、地域  
特性に応じた集落営農組織の設立  
や共同利用大型機械の導入支援を  
進めている。必要な支援を受けられ  
るよう農業構造を確立する。

農業で利益を上げるため、農業  
インフラ整備が必要でないか。

産業としての農業を成立させ  
るためには、利益が出ないと産  
業ではない。費用対効果を重要視し  
ている。

農業、農家のやる気を奮い立た  
せることのできる施策を願う。  
答 承った。何とかしていく。



金子辰男 議員



歴史教科書採択と歴史認識について

東京書籍「新しい社会歴史」が  
採用されているが、外国の立場  
で書かれた本としか思えない。ざん  
げを繰り返すような内容では自国  
に誇りを持つ子どもにもなるのか。

平和で民主的な国家および社  
会形成に必要な能力育成とい  
う狙いの達成に向けて協議、評価し  
採択した。

近年歴史の精度向上、自国に誇  
り持つ教科書採択が必要で  
ないか。

適切な採択ができるよう精進  
する。

通学路の安全確保について

通学路の安全確保の現状およ  
び整備などの対応はどうか。

安全対策は各部署が連携して  
取り組んでいる。道路構造上歩  
道が設置できない道路等もあるが、  
スピード感を上げて対応していきたい。



▲グリーンベルトを登校する児童



詫間政司 議員



人口減少・少子化対策のこれまでの検証と今後の展開について

新市誕生から15年が経過した。  
この間、成長と繁栄を人口減  
少・少子化対策による定住人口の安  
定確保に向け、市を挙げて取り組ん  
できた。その結果は、昨年の国勢調  
査から県が発表した速報では、県下  
で人口減少数が最も多い自治体だ  
という衝撃的なものだった。

さらに合併年に500人台であ  
った出生数が318人であった。合併  
以来着手してきた人口減少・少子化  
対策の各種施策の総括を踏まえた、  
これからの政策の方向性を伺う。

指摘のとおり大変衝撃的な数  
字である。第2次総合計画の基  
本構想の中で、人口目標6万3,50  
0人十を掲げ、人口減少予測をただ  
受け入れるのではなく、持続発展し  
続ける三豊市を目指し、各分野の事  
業に取り組んでいる。特に子育て支  
援や若者定住施策に注力してきた。  
今後は、人口の減少を緩やかにし  
たり、少ない人口でも活力ある社会

を維持することが重要になってくる  
と思われる。そのために、安心して  
子どもを産み育てられる環境づく  
りを行い、住みやすいと思ってい  
えるまちづくりを考えていく必要が  
ある。加えて、市民の皆さまが、誇  
りをもって暮らしていただくためのシ  
ビックプライドの醸成が突破口にな  
ると考える。この観点から、今まで  
と同じ事業を継続するだけでなく、  
発想の転換も含めた新たな視点で  
施策を考えていく。



▲さあ出発！楽しい三豊を見つけよう！

その他の質問

- 新国富指標について
- 地域プロジェクトマネージャー制  
度について
- みどりの食料システム戦略と三豊  
市型農業について

※SSW…スクールソーシャルワーカーの略で、児童・生徒が生活の中で抱えているいろいろな問題の解決を図る専門職  
※シビックプライド…市に対する市民の誇り





横山 強 議員

**問** 空き施設等の解体費減額と今後の解体事業の予算計上の在り方等伺う。

**答** 市には令和2年度末で406施設管理しているが、令和5年度から工事施工までの経費が高額になっているのが現状である。財源的にも、解体工事にかかる経費の高騰は市の財源運営に影響を与え、危惧するところであり、今後の解体事業には建築業者、土木業者を含め入札とし、請負の丸投げ禁止等勘案すべき課題と考えている。今後は議員ご指摘のように、経費の削減に向けて研究し、今後の空き施設の解体事業はコスト削減に向けての取り組みをしたい。

**新永康病院について**

**問** 地中障害物撤去追加見積もりを精査した結果770万円減額となった経緯を伺う。

**答** 地中障害物撤去工事見積書が提出され、前回6月議会の一般



浜口 恭行 議員

**問** 本市独自の給付型奨学金制度がスタートしようとしているが、現在の申請状況を聞く。

**答** また市民ニーズが高ければ、どのような拡充策が検討されているのかも聞きたい。

**三豊市奨学金制度について**

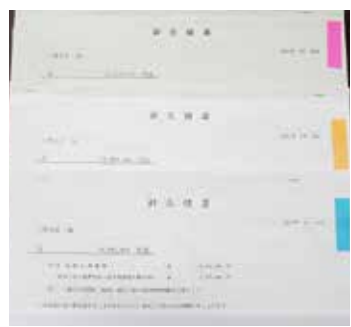
**答** 募集を開始した6月以降、対象者本人やその保護者、県内の自治体や高等学校、報道機関も含め129件の問い合わせがあった。7月末の申請締め切り時には63人もの申請があり、8月31日に20人に対し、選考結果の通知書を発送したところである。

当制度の拡充策については、将来を担う本市出身の現役学生たちが、経済的な理由により、道半ばで夢を諦めることなく、学びを継続できる環境を実現するため、現行の新入学生に現役学生を加えること、新入学生についても当該年の3月に高校を卒業した方以外の新1年生、すなわち浪人されて大学、短大および専門学校に進学された方も対象に含め

質問でのご指摘を踏まえ、2167万円の見積書の精査、施工業者と協議の結果、バックホーによる撤去部分は地中障害物にならない結論になり追加工事の積算から除外とし、機材破損修理費は必ずしも今回の工事の原因で破損とは言えないことから、追加工事の積算から除外とし、最終的には770万円の減額により、前回議員の一般質問でのご指摘についても感謝している。今後このような反省を踏まえて取り組みたい。

**問** 市に損害を与えようとしたCM\*と設計管理者に対する処置を伺う。

**答** CMおよび設計事務所による調査不足より市に不利益を与える恐れがあったことについては、サポート業務契約および管理業務契約の金額減額協議を含め厳正に対処する。



▲上記の見積書は質問者が2回指摘し、業者側から減額とし、提出された写真である

た給付型奨学金制度に拡充したいと考えている。

**旧大浜小学校の跡地利用について**

**問** 旧大浜幼稚園での大浜地区コミュニティセンター(仮称)の建設が急がれるが、今後のスケジュールと、地域のシンボルである旧大浜小学校校舎を解体せずに、避難所や民間企業などへの売買なども含めて広く検討できないのか。

**答** 旧大浜幼稚園は年度内には解体完了後の令和4年3月から11月までの予定で発掘調査を行い、令和5年度内には供用を開始したい。旧大浜小学校校舎については現在、不動産鑑定評価業務の途中であり、鑑定結果が出たら市議会の財政健全化特別委員会にご報告を申し上げたい。



▲旧大浜小学校



石井 勢三 議員

**問** 2050年カーボンニュートラル宣言以降、脱炭素社会を目指す方向性が重要視されるようになった。市の今後の方針を伺う。

**答** 令和2年3月に策定した第2次地球温暖化対策実行計画の中で、目標を見直すとともに、地域の再生可能エネルギーを活用した脱炭素化を促進する事業に係る方針を検討していく必要があると考えている。人材育成を行いながら、地域資源の現状把握や事業の採算性等の検証を行い、事業の可能性を研究していく。

**カーボンニュートラル、脱炭素社会について**

**問** 三豊市は、ごみはすべて資源であるを基本に、総合的にさまざまな施策を実施してきた。三豊市のごみ処理について現状と今後の計画を伺う。

**答** 日本初のトンネルコンポスト方式による「燃やさないごみ処理を行う環境に優しい施設」の稼働が大きく影響し、本市のリサイクル率も、令和元年度で62.1%と全国で上位の位置付けとなっている。今後



市川 洋介 議員

**問** 今後の観光振興策について、今後の観光交流局の在り方について、財源確保を図るための収益事業についてとそのタイムスケジュールについて伺う。

**答** 設立当初の目的である自立した運営を行っていくための法人化、民営化には至っていないが、現時点でも観光カレンダーの販売やホームページのECサイト運営など自主事業による収益を上げること法人化へ向けた財源基盤を固めるため努力している。これからの観光交流局は民間主導の観光ビジネスや地域の観光をサポートしていく組織、つまり観光産業、関係人口のバックヤード業務を総合的にサポートするプラットフォームのような役割を持ちながら自主財源を確保できる運営を視野に入れていきたいと考えている。法人化、民営化に向

**三豊市観光交流局の今後の在り方について**

**今後の教育方針について**



▲バイオマス資源化センターみとよ

**問** 令和2年度に学習指導要領が改正され、知識偏重から考える力重視へと、子どもを取り巻く教育方針が大きく変わるとしている。受け身の授業から、考える授業へ変化して行く方向性について、今後の三豊市の教育方針を伺う。

**答** 本市では、授業改善に数年前から取り組んでおり、子どもたちが主体的に学習に臨み、グループディスカッションなど他者と対話的・協働的に学ぶ場を意図的に授業の中に作り出すように工夫している。今後は、多様な他者と協働して主体的に課題を解決しようとする探究的な学びを充実させ、全ての子どもたちの可能性を引き出すようにしていく。

**多文化共生社会、在住・訪問する外国人への情報発信多言語対応について**

**問** 三豊市に外国人の方が何人住んでいるのか。その中で、お子さんが何人いてその対応はしているのか。日常生活を送る上での情報発信、警報、避難情報は。

**答** 令和3年8月1日現在1002人で各学校等に18人通っており特別教育支援を活用しサポートしている。ホームページ等でネット環境からの情報発信を中心に、より充実させる必要があり、関係部局による協議をしている。



※ECサイト…電子商取引

※バックホー…ショベルを操作側向きに取り付けたもの  
※CM…建設プロジェクトの各段階において、スケジュールや品質管理などマネジメントを行う業務  
※カーボンニュートラル…温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする





改正瀬戸内海環境保全特別措置法について

問 栄養塩類管理制度の取り組み、自然海浜保全地区の指定対象の拡充、海洋プラスチックごみを含む漂流ごみ等の発生抑制等に関する責務規定と近隣自治体との連携、また本市の漁業の状況について。

答 本市の具体策については県の指針が示された後、検討していく。稚魚の放流による水産資源の回復、維持に努めている。県や水産振興協会と連携して漁業者の経営支援を幅広く行っている。

教育行政、中学校の校則について

問 今の社会状況に合った校則、廃止も視野に入れた検討をするべきではないか。

答 個性や多様性が尊重される時代にもかかわらずアップデートされない校則は時代の変化に対応できないと言える。生徒の実情や保護者の考え方、地域の状況、校風などを把握し、創意工夫や適切な運用がされるよう指導していく。



▲ 昔と変わっていない校則

消防団員確保について

問 団員確保は難しい状況になっている。消防車両を運転するにも免許取得の補助も必要である。団員報酬や処遇の改善について聞く。

答 団員は現在20人欠員である。消防車両のオートマチック車の導入や準中型免許取得のための助成と、報酬額や出勤手当についても早急に検討していく。

小学生の口腔ケアについて

問 なぜ歯磨き粉の使用が禁止なのか根拠が必要である。

答 使用することにより清涼感が生じ、十分な歯磨きをせず歯垢を磨き残したりするためである。

問 歯磨き粉は口腔内の汚れを効果的に取り除き、口臭を防ぎ、口の中を浄化する。また8割以上の児童が歯磨き粉の使用を希望している。

答 学校の方にも伝えたいと考えている。



64歳以下のワクチン接種率について

問 三豊市が64歳以下の接種希望者が想定より少ないと受け止めていると報道されているが、どう対応するのか。

答 接種をしないと決めている人は5%とごく少数である。接種を決めかねている方々の意思決定に役立つ情報の発信に努めたい。

公共施設のインターネット回線整備の検討状況について

問 コロナ禍から、公共施設においてオンライン配信に耐えるインターネット回線の整備が求められている。検討の結果は。



GIGAスクール構想における学校間の格差について

問 GIGAスクール構想の活用状況は学校ごとに差が出てきていると報告されているが、どのような現状であり、どう対応するのか。

答 学校間に活用や研究の深さの差があることが分かっている。主な要因は、教員の活用方法についての認識に差があること。ICT活用への意欲を高めるとともに、研修の機会を充実させていくことが求められる。

進捗の差を重視しすぎず、子どもたちに保障する学びの基準を定めつつ、突出するところは抑えない取り組みが必要ではないか。

答 文部科学省の指針を踏まえながら、今後、市独自のカリキュラム基準を策定していく予定。一方で活用を積極的に進めようとしている学校や教員を妨げないための支援も行っている。



三豊市の基本計画について

問 人口減少対策が最も重要であるとの理解の下に、いろんな事業を説明し、検証すれば、市民の理解も得やすいのではないかと。現状では、何としても人口減少に歯止めをかけるといふ、市長の決意が伝わらないと思うがどうか。

答 本市においても人口減少が進行している。しかし、さまざまな困難を目の前に、人口減少を前提とした縮小志向では、未来に持続・発展するまちをつくることはできない。総合計画に掲げる将来像「One MITYO」を心づながる豊かさ実感都市」の実現に向けては、高い志と強い覚悟が必要だ。このまちから出て行きたくない、このまちに住んで良かったということを思っていただけのこと、それがシビックプライドであり、そしてそれがこの人口減少を食い止めるものであると重ねて答弁させていただく。

緊急対応について

問 詫間町の公民館第2分館から避難所建設の要望書が出され



▲ 永康病院跡地(予定)に出された避難所建設の要望



新型コロナウイルス感染症対策について

問 12歳以上児童も接種対象だが小児科病院は接種を行っていない。保護者が相談できる窓口周知について聞く。妊婦等を対象としたワクチン優先接種実施について聞く。自宅療養者に対する生活支援等の状況も聞く。

答 相談窓口周知の件だが、持病のケース等接種に関する相談はワクチン接種対策室でお伺いする。市のホームページ上でも早急に周知を図りたい。妊娠中の方および配偶者等を対象に、9月19日に三野町保健センターにて優先接種を実施する。併せて感染が妊娠に与える影響等の接種勧奨も行いたい。自宅療養者について連携の要請等はないが、



放課後児童クラブについて

問 直営クラブと民間委託クラブがあるが、運営方針は統一できているのか。夏休み期間や休日は児童数も増え開所時間も長時間になる。3密の状態とならない基準以上に広い施設が望ましい。対策を聞く。

答 市放課後健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を制定し、基準等を定めている。市内全クラブが運営方針に基づき、健全育成が図られるよう取り組み。感染症対策はアルコール消毒や手指消毒、マスクの着用のほか、空間除菌消臭装置の設置など感染予防の徹底を図っている。

奨学金返還支援制度について

問 「奨学金返還支援制度」が拡充され、地方創生の推進から市町村の導入が拡大されている。三豊市の導入に対する考えを聞く。

答 市内の事業者が必要とする人材を確保するという観点から、市内企業等のご意見を伺い、近隣自治体の動向も見極めながら、奨学金返還支援制度について調査研究を進める。

\*GIGAスクール構想…一人1台の学習用端末と、通信ネットワークの整備によって、子どもたち一人一人に合わせた教育の計画  
\*ICT…情報通信技術





水本真奈美 議員



風水害時の防災対策について

問 コロナ禍の中、男女共同参画の視点を生かした避難所運営について。

答 今年度、吉津小学校区で避難所運営マニュアルを作成している。男女共同参画の視点に立った内容となるよう取り組みを進める。

問 要支援者個別避難計画の現状と課題について

答 令和2年度に要支援者管理システムを導入し、該当者(8月末現在6336人)のうち、登録希望者(1804人)に個別避難計画の作成を依頼した。個別避難計画には緊急時の連絡先、かかりつけ医、避難所等多くの記載項目があるため、記載漏れが多く、現在民生委員が聞き取りを行い、より正確で、具体性のある個別避難計画の策定に取り組んでいる。

問 避難所における聴覚障がい者への伝達支援について筆談ボードを導入しては。

答 現在、手話通訳者は市内で1人と少なく、避難所での伝達支援として筆談ボードの導入を検討する。

問 マイタイムライン作成の啓発推進について。

答 マイタイムライン作成手順の動画7月号で周知したところである。さらに作成啓発について具体的な内容や方法を検討する。

デジタル社会への対応について

問 視覚障がい者の日常生活用具給付事業に音声読み上げアプリ付きタブレット端末を導入する考えを伺う。

答 現在、対象となる情報・意思疎通支援用具は15種類あるが、デジタル社会に対応し、豊かな生活が送れるよう情報通信機器等の導入に向け検討する。



みとよ視覚障がい者支援センター「ひかり」交流会の様子

その他の質問

○ 地方気象台との連携活用について  
○ 男性育児休暇の啓発推進・SNSによる育児相談やパパママ教室の動画配信について



湯口 新 議員



スポーツ行政について

問 ボールパーク構想の宝山湖公園の維持管理費が、改装後は約2千万円増えて、約3千万円かかるという試算が示されているが具体的な対応策は示されていない。対応策は。

答 企業版ふるさと納税やスポーツボードやネーミングライツ等の広告収入により、市の一般財源負担を少しでも削減したい。また、指定管理者制度を導入し、民間ノウハウを生かした効果的かつ効率的な運営を行うことにより、維持管理に係るコストの縮減と収入の増加を図りたい。具体的には指定管理者やサッカー協会、ラグビー協会等の関係機関との連携により、各種大会や合宿を誘致し、使用料収入の増加につなげたい。

問 山本ふれあい公園多目的広場のさらなる活用は。



現在、硬式野球は守備練習だけが認められている山本ふれあい公園多目的広場

答 中学生硬式野球での使用の許可を検討したい。

空き家の利活用について

問 空き家バンクの今後のさらなる展開と空き家の事業活用推進について伺う。

答 将来的に危険家屋となり得る物件を未然に防ぐために、空き家バンクの制度の在り方も含め、総合的な観点から施策に取り組む必要がある。市内に住所を有する個人または法人が開業する場合には、登録物件の改修費について改修費の3分の2以内または50万円以下を創業支援事業補助金として補助するなど、事業活用推進の観点からも取り組んでいる。

問 既存事業者への空き家活用の補助も考えてはどうか。

答 財源確保の問題等もあるが、特色ある制度というものは構築していかなければいけない。危険空き家となる前に物件を有効活用できるような仕組みも調査研究を進めたい。宿泊関係については、空き家をリフォームして宿泊施設にするというのは非常に有効な手段。そうした補助は十分に検討したい。

その他の質問

○ 三豊ふるさと大使のさらなる活用について



岩田秀樹 議員



校則の見直し状況・今後の見通しの実態調査を実施へ

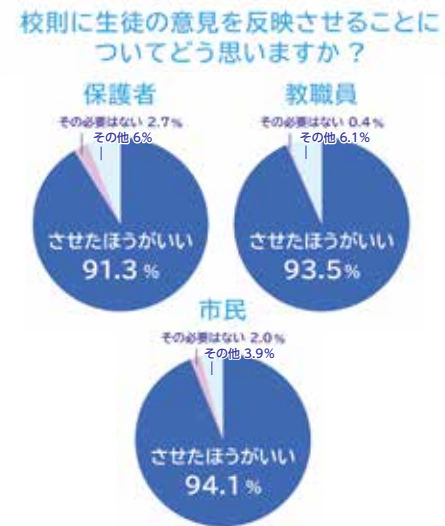
問 現在の三豊市内の「学校の校則」の現状と日本共産党が実施した「全国アンケート結果」についてどう思うか。

答 文科省は2021年「校則の見直し等に関する取り組み事例について」として、全国の教育委員会に対して、社会常識や時代に合わせて積極的に校則を見直すよう「事務連絡」を発出した。

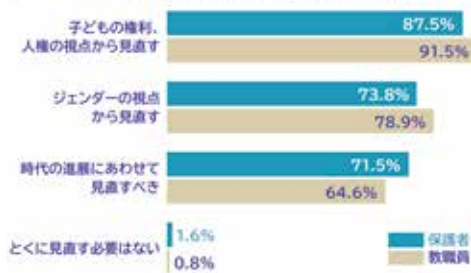
問 県内でも、校則見直しの取り組みがある。三豊市の状況はどうか。現在、小学校では、入学説明会で説明し、中学校では、オリエン

テーションで説明しながら指導している。「全国アンケート」については、「校則で疑問に思うものはあるか」との問いに、生徒や保護者より教職員の割合が最も高かった。教職員の若返りの中、固定化した指導では効果が期待できない。

今後、校長会を通して、見直しの状況や今度の見直しなどについての実態調査を実施する。その結果を踏まえ、生徒が校則を自分のものとしてとらえ、自主的に守ることができるよう、学校を取り巻く社会環境や児童生徒の状況の変化に応じて、積極的に見直しに取り組む。今回、文科省の「校則の見直し等に関する取り組み事例」を各学校に配布することで、見直しの際の参考にして、市全体で共通理解を図る。



校則見直しの視点



【日本共産党が実施した全国アンケート結果より】



三木秀樹 議員



「国の施策」を一貫して準用する行政サービスで、三豊市は持続可能か

問 「激変する三豊市」の体力、現状を把握せず、田舎を知らない「国の施策」を準用する方式で、三豊市は持続可能な市で有り続けられるのか。

農家の先行きの「不安」、中小企業も人手不足、高齢化での「不安」、教育も含め急激なデジタル化に対する「不安」、自治会における65歳以上が半数を超える「限界集落」になる不安等々、誰もがこうした不安を感じている。無責任な自民党政府に追いついてきた「在り方」が現状となっている。

三豊市が持続可能な市で有り続けるために変えていかないと。

退職後に年金支給開始までの期間、市役所で働く数十名の「再任用職員」を事務作業でなく、そうした市民と「面談」し、実情を調査し、実態に即した多様性のある市を創造する部署で働くようにしていかないと。指摘は、市の発展と未来にとって有益。再任用職員の培われた経験、知識は三豊市の財産。専門性をフルに生かせる場所を設けること



三豊市内の実情を再任用職員の英知で調査し生かす

その他の質問

○ 核家族の子育て支援について  
○ 地籍調査のミスをなぜ申請者が。



総務常任委員会

9月13日開催の総務常任委員会には、4議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

令和3年度一般会計補正予算(第4号)中の関係部分

**問** 指定管理者制度導入施設について、高瀬天然温泉の修繕内容について詳しく教えてほしい。

**答** 昨年度に温泉施設の配管等について劣化状況調査を行い、ボイラーから浴槽に至るまでの配管を交換する。今後は、源泉からの配管についても今年度に設計業務を行い、来年度以降で順次修繕を実施していく。

**問** 指定管理者制度導入施設への補償について、新型コロナウイルス感染症拡大により休館したすべての指定管理者制度導入施設へ、協定書に記載された不可抗力として、それに基

**答** 新型コロナウイルスの影



▲ 高瀬天然温泉

管理料を増額している。今後も新型コロナウイルスの影響により休館等になった部分は、順次補正をお願いする予定である。

三豊市過疎地域持続的発展計画の策定について

**問** 今回の計画の対象となる3地域は、何が不足していて、どうすることが過疎対策になるのか、ビジョンはいつ示されるのか。

**答** 市長と議会とで、政策的また政治的な判断がされれば、事業として、過疎対策が講じられるものと考えてる。

**問** 計画の対象となる3地域の人たちの声を聴いて、その人たちが望むことに投資をしないと、財源が有効に使われず、生きた投資にならないのではないのか。

**答** 事業実施に当たっては、具体的な事業計画を作成し、目指すべき事業に取り組むことになる。その事業計画の作成に際しては、対象地域の皆さまの意見は十分反映していく。

以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。

教育民生常任委員会

9月14日開催の教育民生常任委員会には、6議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

令和3年度一般会計補正予算(第4号)中の関係部分

**問** 地域女性活躍推進交付金事業はどこのNPOがするのか。この事業は単年度ではなくて何年か続くのか。

**答** 地域女性活躍推進交付金事業はつどいの広場、一時預かりおよび放課後児童クラブを業務委託しているNPO法人フレンズに委託し、事業については国の補助金が単年度事業で、来年度以降は今のところ未定である。

**問** 豊中改善センターの床の改修とはどのような工事内容か。工程は。

**答** 豊中改善センター2階のホールの床をはいで、ベースの部分から見直し、工期については来年の新年度予算で工事する予定である。

令和3年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

**問** 国民健康保険は三豊市で何人の方が加入しているのか。社会保険も国民健康保険も入っていないという方がいるのか。

**答** 令和3年3月31日現在で、国民健康保険加入者が1万3770人。三

豊市で社会保険等の保険に入られていない方というのは確認できていないが、何かの保険に入られていると思われる。

令和3年度病院事業会計補正予算(第1号)

**問** 新病院建設に伴う駐車場用地取得で土地の売り主とは話が十分できたのか。

**答** 土地の所有者と今現在も鑑定額でお願いしたいと交渉中である。



▲ 三豊市立みとよ市民病院のイメージ図

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり可決した。

市民建設常任委員会

9月15日開催の市民建設常任委員会には、11議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

令和3年度一般会計補正予算(第4号)中の関係部分

**問** マイナンバーカードの取得率はどのような状況か。また、その長期的な目標はどうか。

**答** 9月5日時点で、申請で40.8%、交付で34.97%である。国は、令和4年度末で、ほぼ全国民に行き渡ることを目指している。

**問** 人権啓発の講演会中止について、それに代わる啓発の取り組みを検討しているのか。

**答** 人を集めての講演会は難しいが、ウエブ会議や小規模のセミナーなどを検討していきたい。



**問** 農業次世代人材投資事業の過年度返納金の増額補正について、離農の原因理由は何か。また、行政としてももう少しフォローできなかったのか。

**答** 農業は収穫するまで一定の時間が必要で、失敗もあり得る。労働や投資に対する売り上げが見合わないと本人が判断し、離農という結果となった。今後はこういった面でのフォローも進めていきたい。

**問** 補助金の増額補正は、土地改良区において貸借対照表の作成が必要となったことに伴うシステム更新のためとのことであるが、これは三豊市だけのものか。また、どこに補助するのか。

**答** 全国的なものである。三豊市内にある土地改良区合同事務所に対する運営補助であり、今年度限りのものである。

以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。

防災訓練

地震に備える

10月1日

「南海トラフ地震の発生により、市内で震度7を観測し、大津波警報が発表された」という想定のもと、防災訓練を行いました。

第1部は、本会議中に起こったことを想定。議場にいた議員や市職員は、ヘルメットをかぶり、揺れが収まるまで動かず姿勢を低くするなど、身を守る基本行動や本会議の延会対応の方法を確認しました。

また、第2部では、議会の会議時間以外に起こったことを想定し、議員通知システムを使って、それぞれ議員自身の安否を知らせる訓練をしました。



▲ 姿勢を低くし、身を守る



▲ 議員通知システムで安否を通知

